

## 二十歳のつどい おめでとう



1月8日(日)10時より保原体育館で行われ、約500名が晴れの日を迎えました。今まで旧5町で実施していましたが、伊達市合同開催となりました。

人生の節目にあたり、それぞれ誓いを新たにし合い、久しぶりに会う旧友との語り合いは尽きません。お互いの健康と再会を約束し、会場を後にしました。

## 小正月のだんごさし 1月13日(金)。

講師の歴史研究家 遠藤利夫様から、小正月のお話を聞いた後、保原幼稚園児たちが、みずきの木に紅白団子・タイ・小判を付け、願い事を飾りました。



## 今年度の終了にあたり

理事長 佐藤貞夫

いい加減、聞き飽きた言葉で恐縮ですが、気候変動やコロナ禍、ウクライナ危機と地球的課題が相次ぎ、未だ収束の見えないコロナ感染第8波が覚めやらない中で、年度末を迎えます。特にウクライナ危機の影響による原油価格の上昇で、光熱費や食料品等の生活必需品の高騰は、低所得者や年金生活者にとり厳しい状況にあります。その事を踏まえ、市

民の声に耳を傾けて生活を知り、社会の分断者や孤独者を出さないためにも普遍的な福祉対策が急務です。特に、その延長線上にいる子どもたちの不登校や児童虐待、そして自殺や貧困等子どもを取り巻く環境は増々深刻になっていきます。その子どもや家族に寄り添い、同苦し乍ら食事や居場所を提供する「子ども食堂」を、諸団体各位の協力の元、実施して参りました。新年度もその経験を活かし本格的に取り組んで参ります。少しでも子ども達の笑顔が戻ることを願いつつ。



## 正月に 手作り門松 飾りたい

12月11日(日)。門松づくり教室。講師 歴史研究家 遠藤利夫様のていねいなご指導により、協力しながら制作でき好評でした。



## 小学生 縄をなうのに 四苦八苦

12月15日(木)。しめ縄づくり。保原小学校日本文化クラブの皆さんが参加。縄をなうことに大変苦労の様子でしたが、地元ボランティアの指導を受けながら楽しく完成させました。



## 歌声が 今年も響け まちなかに♪

1月12日(木)。うたごえ喫茶。講師は、千本松四郎様。「1月1日」の歌で開始。リクエスト曲の合唱、懐メロイントロクイズで盛り上がり、楽しい新年のスタートをきりました。



## 楽しいね そば打ち体験



11月6日(日)。そば打ち体験教室。講師は、渡辺勝則様。説明がていねい、楽しい、前回より上達、また参加したい、等の声が多くありました。



## 冬景色 心を照らす ランプの灯

12月3日(土)。ランプシェードづくり。講師は、振興会の高野副理事長、片平事務局員。麻糸を風船に巻き付け、中に照明を設置し完成！簡単に作れ、何とも言えない幻想的な光の影を発しました。



## 防火訓練 AEDの使い方講習会

12月27日(日)。二六町内会主催・伊達地方消防組合の協力により、市民センターで開催。

終了後、トランペッターNoby(ノビー)様の音色と二六晦日町若連太鼓の力強い演奏は、会場いっぱいに響き渡り、心和むひと時でした。







新年会（下） 親睦旅行（上）

発 足 昭和52年  
 町内会長 野木琢也(7代目)  
 世 帯 数 140世帯  
 「晦日町内会」の世帯数が多くなり、  
 3町内会（晦日1・2・3）に分割し  
 現在に至る。

- 主な町内会行事
- 新年会 ●親睦旅行 ●芋煮会
  - 防災訓練（災害時の安否確認）
  - クリーンアップ作戦 ほか

町内会だより  
**晦日第一町内会**

会長 野木琢也



**本** 会は、当初の73戸から、140戸  
 に増え現在に至っています。  
 「町内会の福祉と親睦を図り、併せ  
 て伊達市保原町の発展に寄与するこ  
 とを目的としています。」  
 町内会の行事を通じ、若い世代と  
 従来から当地にお住いの方々との親  
 睦が深められている点が、よいこ  
 ろです。  
 災害時安否確認訓練で、各班長さ  
 んが真剣に自分の班全世帯を回って  
 いただいたこと。芋煮会であまり交  
 流のない子どもたちと楽しめたこと  
 等が思い出に残っています。  
 隣近所との助け合い（近助）を基  
 本とした、共助による地域防災意識  
 の向上を図っていければと思います。

**まちなか食堂**

美味しいね 食べたよお餅 はらいっぱい

12月24日(土)。今日のメニューは、きなこ・ひきな・あんこ・雑煮の4種類のおもち。子どもたちは、千本杵での餅つきと2個の鏡餅作りを、ボランティアの方に教えていただきました。どちらも初めての経験でした。おなかすいたよー。



**第8回子どもまつり**

地域力 あふれる笑顔 子どもらに

2月11日(土)。保原SC運営協議会主催・保原小PTA共催で、保原小学校にて開催。子どもたちは9種類の体験ブースで、楽しいひと時を過ごしました。

- ①幸せのハンカチ ②ポッチャ ③射的 ④伝承太鼓





団体紹介  
**保原地域青少年育成  
 推進協議会 会長 齋藤 徹雄**

**本**

会は、青少年育成県民会議  
 と市民会議の下部組織です。



保原高等学校様（団体の部）  
 生徒たちが希望者を募り、地域貢献活動に  
 12年間取り組まれた功績に表彰。



熊坂 和郎様（個人の部）  
 信号器のない横断歩道で、通学・通勤者の  
 交通指導を10年間継続された功績に表彰。

保原町には、「保原ブロック会」  
 があり、町内会・推進委員・学校や  
 PTA・その他関係団体の代表者等  
 で組織が構成され、以下のような活  
 動を行っています。

●「ブロック会」の開催と活動

町内9地区で、計画案作成や役員  
 選出等後、地域の活動（写真左）  
 や異世代交流活動を支援します。

●「私の主張発表会」の開催

小・中・高校生の代表が、心に訴  
 える意見を発表します。（今年は  
 コロナ禍により、紙面発表）

●「立志式」の開催

伊達市内の中学2年生が保原体育  
 館に集い、将来の目標を胸に志を  
 新たにします。

●青少年育成「ほばら」の発行

●市民会議での表彰（写真上）



地域活動

保原の方言

その15

島田 久也

方言

「これんめえがらくつてみっせ。」  
 「ばあーちゃん、いづも世話んなつ  
 てばかりでありがど。」  
 「よっぴかりすごどしてつから、つ  
 かれたつあつたんでねえの。」  
 「毎日頑張つてだがんない。体のぐ  
 えーどうだい。わりがつつたら医者  
 様させでんげんちよも。」  
 「遠慮しねで言わんしよよ。」  
 「いやー、しんべかげでありがど。  
 すこす疲つちやげんじよ、さすけ  
 ねぞい。」  
 「これがらまだ、使つてくなんしよ。  
 よっぱら仕事させでもらうがら、  
 よろしくない。」

標準語

「これ美味しいから食べてみて。」  
 「ばあーちゃん、いつも世話になつ  
 てばかりでありがど。」  
 「夜遅くまで仕事をしているので、  
 疲れちゃったんじゃないの。」  
 「毎日頑張つていたからねー。体の  
 具合はどうですか。悪かったら病  
 院に連れ行くのですが。」  
 「遠慮しないで言つて下さい。」  
 「いやー、心配かけて有難う。少し  
 疲れたけれど、心配ないですよ。」  
 「これからもまた、使つてください。  
 たくさん仕事をさせてもらうから、  
 よろしくね。」

■ようこそ、自治振興会へ

11月29日、保  
 原小学校の2年  
 生5名が、「町探  
 検に出かけよう」  
 の勉強で本会を  
 訪れました。「ど  
 んなことをして  
 いるの」など等  
 熱心に質問して  
 いました。



■まちなか食堂（毎月第4土曜日）

令和5年度の開催日と献立予定

4月22日	魚定食（味ご飯）
5月27日	カレーライス
6月24日	豆腐ハンバーグ
7月22日	そうめん
8月26日	タコライス
9月23日	魚定食（味ご飯）
10月28日	彩り丼
11月25日	カレーライス
12月23日	お餅
1月27日	おでん（味ご飯）
2月24日	牛丼
3月23日	ちらし寿司

（変更になる場合があります）

■あとかぎ

ご多忙の中、各事業への参加協  
 力や快く原稿執筆を頂いた方々  
 に、感謝申し上げます。  
 早春を告げる福寿草や露のとう  
 が芽吹きました。平和の使者、春  
 （鳩）よ来い。早く来い。

